

## 中越大震災を契機、GISの必要性を具現化

### 8/25 「にいがたGIS協議会」設立

8月25日、ホテル日航新潟において「にいがたGIS協議会」の設立総会が行われた。この協議会は、中越大震災を契機として必要性が強く認識されたGISについて、新潟市に本社のある企業が連携して新潟県の空間情報やGIS技術の共有/流通を行うために設立したもので、地域に根ざした今後の活動が注目される。

設立総会、理事会では、まず協議会会長に坂井宏子氏（中央グループ(株)）、副会長坂井浩氏（(株)ナカノアイシステム）、事務局長に武藤康生氏（中央グループ(株)）が選出された。

「にいがたGIS協議会」は、(株)ナカノアイシステム・(株)BSNアイネット・(株)オリス・(株)キタック・金井度量衡(株)・中央グループ(株)の6社が設立発起人の正会員となり、賛助会員約10社の参加によりスタート。県民の視点に立ち、GISをコア技術として、社会システムや地方行政の効率化、新産業の育成、さらには市民が手軽に利用できるコミュニケーションツールとして、県内の健全なGIS技術の活用を推進する母体となることを目的としている。

今後は、

1. 中越地域の大震災復興基盤の作成及び貢献
  2. GIS・レーザ計測技術・リモートセンシング・GPS・データベース技術・クリアリングハウス等に関する勉強会の開催
  3. 地域のGISの普及・啓発
  4. 会員間相互のGIS情報交流及び産業の活性化、産業創造
  5. GIS情報の収集・提供
  6. GISの利用技術に関する研究
  7. 学術分野、産業分野、行政分野との連携
  8. 県内外各地のGISに関連する協議会等の活動の連携
- の8項目を活動の基本として、中越大震災で認識が高まったGISの活用による復興基盤の確立、さらにGISの普



及を地域活性化につなげていく新潟の強い決意が感じられた。

続いて行われた設立記念講演会には、予定を上回る約160名の参加者があり、東京大学空間情報科学研究センター特任教授今井修氏と新潟大学工学部情報工学科教授牧野秀夫氏から、それぞれ、コミュニティ形成を意識したGISの必要性と中越大震災で活用されたGISについて講演が行われた。

また、設立交流会設立を祝う交流会には新潟大学長谷川彰学長（協議会特別顧問に就任）を始めとして、各界の代表から祝辞が贈られた。

【問い合わせ先】  
 にいがたGIS協議会 事務局  
 TEL：025-282-2600（中央グループ(株)内）、  
 FAX：025-285-6699  
 URL：http://www.niigatagis.com  
 担当：武藤 E-mail：muto@breath.co.jp